

2022年3月期の取り組み



今年度における当社グループの重点的な取り組みについてご説明します。

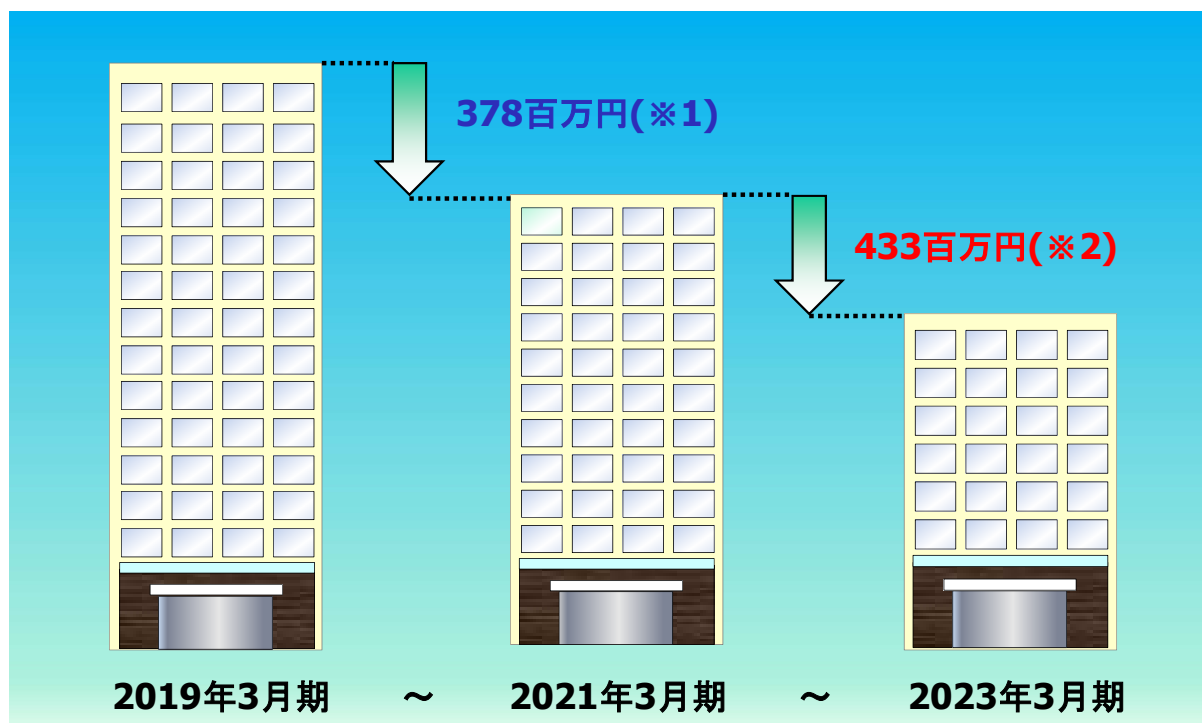


賃借料の適切なコントロール

TAC

【校舎賃借料の適切なコントロール】

オンライン受講の増加に伴い直営校の床面積減床を行い、校舎賃借料(固定費)の抑制を図る。



・受講スタイルの変化に対応し、校舎毎の稼働率を分析。直営校各校の規模の最適化を図る。

【実施済みの校舎】

横浜校、八重洲校、水道橋校、なんば校、
京都校、池袋校 等

・各直営校の営業時間の最適化、ITを活用した業務効率化等も推進し、コストコントロールを図る。

※1 移転・減床工事等が完了した校舎の減床の効果が1年間寄与した場合の賃借料削減額

※2 来期以降、移転・減床工事等を行う予定の校舎において、減床の効果が1年間寄与した場合の賃借料削減額
(※1、2ともに、2019年3月期の賃借料をベースに算出)

新型コロナウイルスの感染拡大が収束した後の受講スタイル等も随時分析し、校舎賃借料の抑制を図り、より一層適切なコストコントロールを図る。



新たな売上獲得及び新たな事業領域への挑戦 **TAC**

【高等学校商業科検定教科書の分野に参入】

会計教育に関わるTACの長年の経験とノウハウを活かし、検定教科書の分野に進出

令和4年度から実施される新しい高等学校学習指導要領商業に則り、高校1年生で履修することの多い『簿記』『ビジネス基礎』について、文部科学省の検定決定を受け、全国の高等学校での採択ののち、令和4年度(2022年4月)より、全国の商業高校で使用されます。

簿記

- ・学習しやすさを意識し、全体を「簿記の基礎」「取引の記帳」「決算」の3つに分けて構成し、全体像を把握できるように工夫
- ・本文では「はじめに」でイラストを基に概要を説明することで、その単元で学習するテーマを明確にし、スムーズな学習の導入となるように工夫



ビジネス基礎

- ・商業科の基礎知識だけでなく、「新聞の読み方」「ビジネス文書・メール」「求人票の読み方」など社会人として必要な基本的内容も収録
- ・具体的な事例を豊富に取り入れるだけでなく、インタビュー記事を掲載し、高校生のキャリア形成につながるように工夫



今後、高校2年生、3年生で使用する会計分野の教科についても文部科学省への検定申請を行い、ラインナップを広げる予定